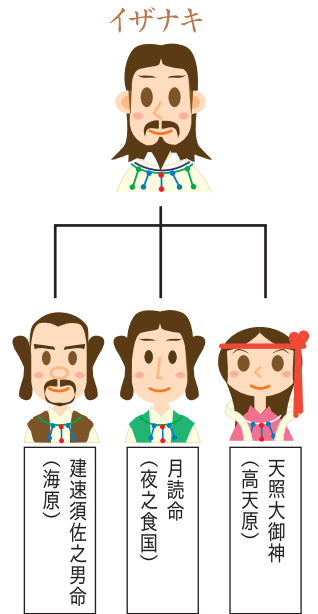




# 太陽の神様と天の岩屋

## 〈今回の登場人物〉



黄泉国から戻ったイザナキは、聖なる水辺で死者に触れただけがれを洗い清めました。衣を脱いだり体をすすいだりする度にさまざまに神が生まれて、最後に、左の目から天照大御神が、右の目から月読命が、鼻からは建速須佐之男命が生まれました。天照大御神は高天原を、月読命は夜之食国を、建速須佐之男命は海原を治めるよう言われました。ところが、建速須佐之男命は亡くなった母に会いたいと大声で泣くばかりで、とうとう追い出されてしまいます。姉の天照大御神に別れを告げに行

くと、国を奪いに来たと誤解されてしまいました。邪心のないことを証明してみせたものの、その勢いのままに田の畦を壊したり大便をまき散らしたりと大暴れして、ついには神の衣を織っていた女性に馬の残酷な死体を投げつけ驚かせて、死なせてしまいました。

天照大御神はそれを見て、天の岩屋にこもってしまいます。太陽の神様が隠れてしまったことで、天地は暗闇に閉ざされ、あらゆる災いが起こりました。困った神々は集まって相談し、夜明けを告げる鳥を集めて鳴かせ、鏡や勾玉の飾りなどを作って神事を行い、天宇受売命が岩屋の前で神がかりして踊り、他の神々が一斉に笑い声をあげてみせました。不審に思った天照大御神が戸を少し開いたところを、天手力男神が引き出して、天地に明るさが戻ったという事です。日食が冬至の神話ではないかといわれています。

(本文 万葉文化館 井上さやか)

## 編集部の古事記コラム

今回のお話がそうだったのかは分かりませんが、過去に日食が起こった日は、コンピュータの計算で遡って算出できるそうですよ。

それによると、紀元前728年3月には日本のほとんどの部分で、太陽が全部隠れる皆既日食が4分くらい続いたようです。

その後何度か日食があった後、628年に起こった皆既日食は、日本書紀に書かれている、推古天皇の時代の日食ではないかと言われているそうです。

次に奈良県で見られる日食は、2312年。ずいぶん先ですね。

## クイズ

### 古事記ハカセへの道

#### 先月の答え。

① 海原でした。



今回のお話にも出てきた、建速須佐之男命のことでした。

#### 今月の問題

Q 高天原を混同させた建速須佐之男命はどこへ追放されたのでしょうか？

- ① 北海道
- ② 島根県
- ③ 火星

答えは来月号を見てね♪